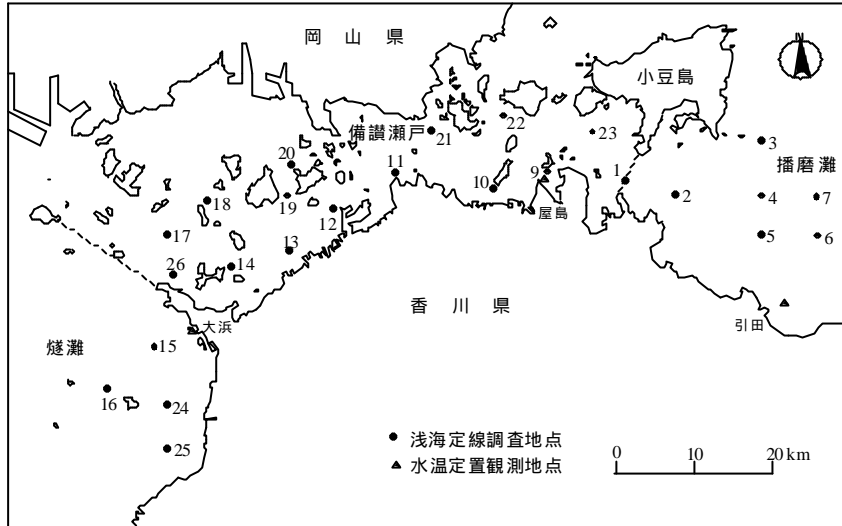


# 香川県漁海況速報 平成15年4月 (H15- 1号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成15年4月10日(播磨灘)、7日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低めから平年並み」、塩分は「やや高めからかなり高め」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	10.3	10.2	9.6	32.9	32.9	33.0	9.3	6.11	5.92
	平年値	10.3	10.0	9.6	32.4	32.4	32.5	8.8	6.50	6.23
	平年偏差	0.0	0.2	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	-0.39	-0.31
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	かなり低め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	10.5	10.3	10.2	33.2	33.2	33.2	4.0	6.29	6.09
	平年値	10.4	10.3	10.5	32.6	32.6	32.8	5.5	6.25	6.24
	平年偏差	0.1	0.0	-0.3	0.6	0.6	0.4	-1.5	0.04	-0.15
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み	やや低め
燧灘	4地点平均値	11.6	10.3	9.9	33.6	33.5	33.6	7.5	6.21	5.80
	平年値	11.4	10.6	10.3	32.8	33.0	33.1	8.3	6.35	6.03
	平年偏差	0.2	-0.3	-0.5	0.7	0.5	0.5	-0.8	-0.14	-0.23
	状況	平年並み	平年並み	やや低め	かなり高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

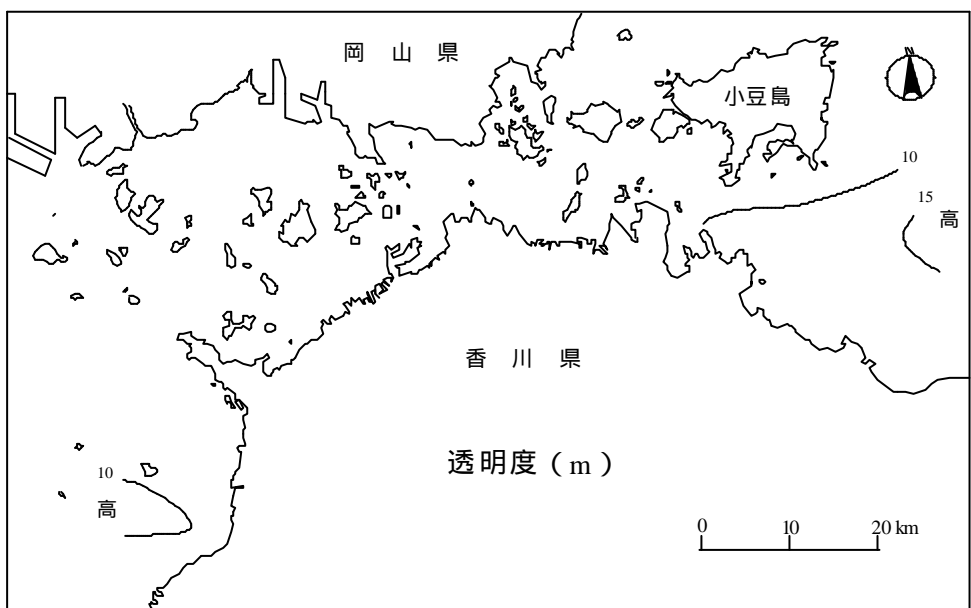
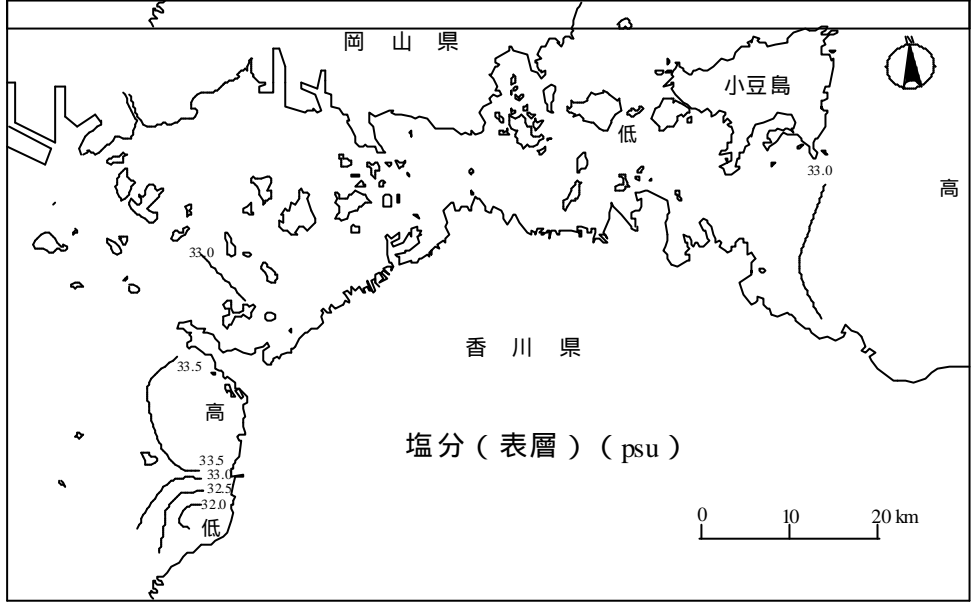
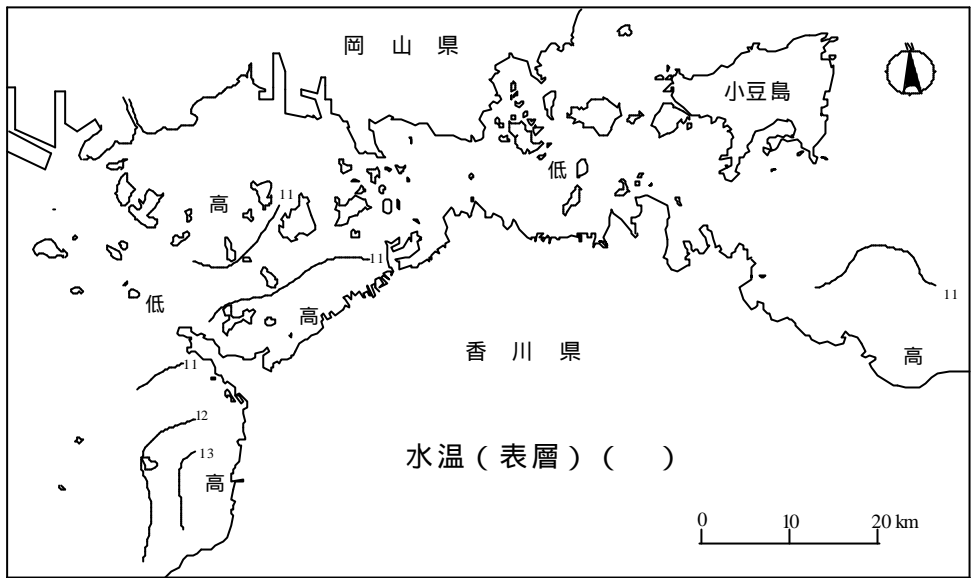
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	



## 2) 定量観測(水温)

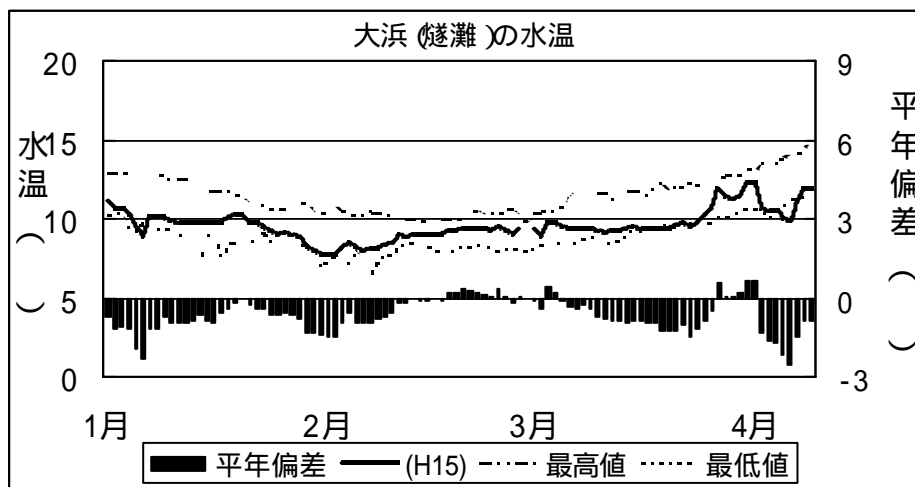
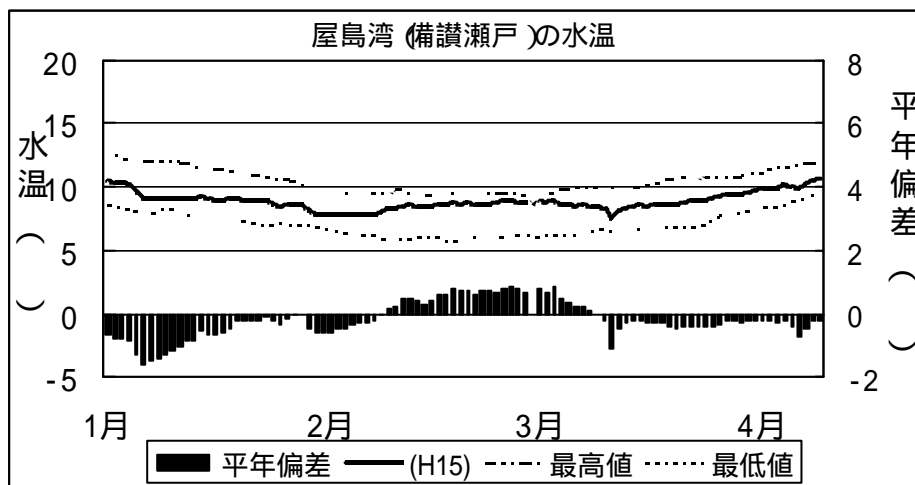
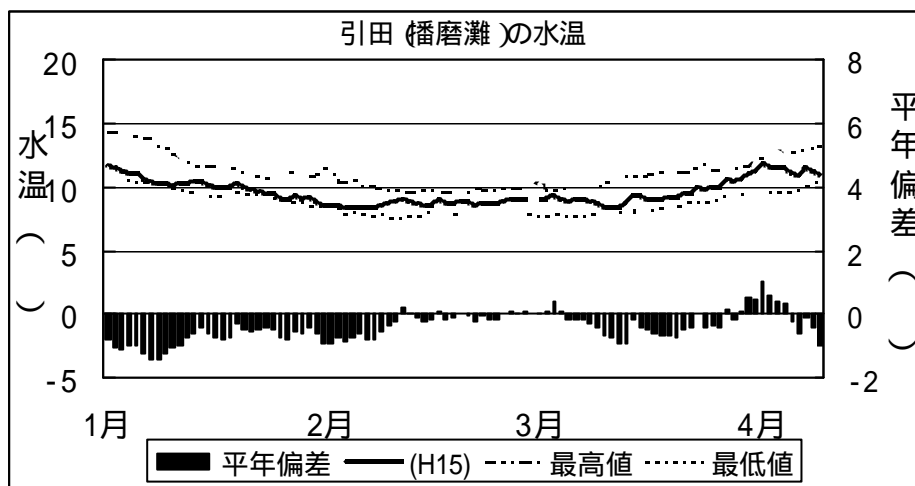
播磨灘(引田): 3月中旬平年偏差が - 0.8 値前後で推移していたが、3月下旬、4月上旬に一時平年値を上回り、その後、また、平年値を下回っている。

備讃瀬戸(屋島): 3月に入り平年値を下回り、平年偏差が - 0.4 前後で推移している。

燧灘(大浜): 3月中旬平年偏差が - 0.8 前後で推移していたが、3月下旬、4月上旬に一時平年値を上回り、その後、また、平年値を下回っている。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



### 3) 赤潮

播磨灘：4月中旬南西部で *Noctiluca scintillans* の赤潮の発生があった。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

### 4) 卵稚仔

調査日：平成15年4月10日（播磨灘） 7日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	0.0%	0.0%
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%
燧灘平均	0.0%	-	0.0%	0.0%
総平均	0.0%	-	0.0%	0.0%

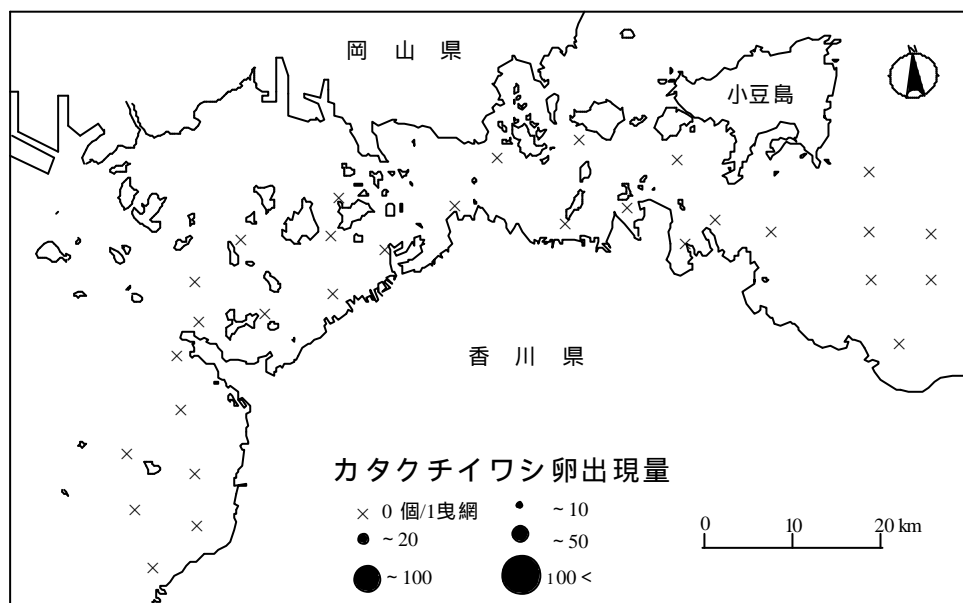
- 平年値が0の場合を示す

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成14（2002）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成14（2002）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。



## 2. 漁況

3月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網は全般的に低調である。 舩網ではコノシロ、スズキ、マダイ、ウマツラハギ、クロダイ、マサバが漁獲され始めたが、前年に比べて漁獲量は少ない。
備 讃 瀬 戸	底びき網で主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、テナガダコが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業は4月15日で漁期を終了した。漁獲量は前年とほぼ同じであったが、金額は魚価が安かったため大きく下回った。 高松・庵治沖のイカナゴ込網は3月の漁獲が好調で、3月末現在の漁獲量は1,142トンとなっており、前年の漁獲量を上回っている。
燧 灘	舩網は3月15日から漁期が始まり、主にウマツラハギ、マダイ、スズキ、ヒラメ、クロダイが漁獲されているが、漁獲量は少ない。 さより機船船びき網は4月10日から漁期が始まり、170～220kg/日・隻の漁獲があった。